

# 将来に向けてイメージできていますか？

**2017年3月 ユニバーサルスクール/カレッジ保護者交流会**

**約30名参加**

**演題：今後の進路についてと市内事業所の紹介**

**講師：障害福祉課（「福祉だより」を配布）**

**（ユニバーサルスクールにて、三田市全域の就労関係事業所のパンフレットを収集して配布）**

**< 保護者交流会で研修をした理由 >**

**保護者の方々から**

- ・卒業後のイメージができない。
- ・知識がないとの意見がありました。

⇒小・中・高に通学されている方への卒業後の進路説明不足が判明。

**なぜなら教育(文科省)⇒福祉(厚生労働省)に変わるから**

**縦割り行政の弊害・教育・福祉の連携が円滑ではない。**



# 保護者交流会のアンケートより

- 中学校を卒業してから、特別支援学校しか選択がないと思っていましたが、選択肢があることを知り、とても希望が出てきました。ありがとうございます。（市内中学校1年）
- 市の方が詳しくわかりやすく説明して頂いたので、よくわかりました。将来がイメージができました。ありがとうございます。（市内中学校2年）
- またこういった会や情報などいろいろ教えて頂いてありがたいです。今日も十分いろいろして頂いて感謝しています。またこれからもよろしくお願いします。（特別支援学校中等部1年）
- 学校の懇談で今日の内容をもとに相談します。ありがとうございます。（専修学校高等課程3年男子）
- 情報等何も知らなかったなので、色々と聴かせていただいてすごくためになりました。学校でももっと情報を教えてほしい！（市内小学校6年女子）
- とても勉強になりました。将来のことを考え、不安に思うことがたくさんありますが、希望が見えた感じで、とてもうれしく思いました。（市内小学校3年男子）
- 知らないことの話しがたくさん聞けてよかったです。（市内小学校6年男子）

**<まとめ>** ★30名の保護者の皆さんが、情報を得られたことに感謝しておられました。

★学校(教育)・市(福祉)共に、将来の情報を保護者に知らせることの重要性をあらためて実感しました。

# 各種事業所の説明

	就労移行支援	型就労継続支援A	就労継続支援B型	ユニバーサル カレッジ（専攻科）
利用期間	原則2年	65歳未満	なし	原則2年
目的	就職するために必要なスキルを身につける。	就労移行支援へと繋げて一般企業への就職	自分のペースを尊重した働き方が可能になるので継続的な就労の実現につながる。	就労するために必要な教育を習得する。
対象者	一般企業へ就職することを希望する方	一般企業への就職が難しい方。	身体障害、知的障害、発達障害を含む精神障害、または難病を抱えている方	発達障害・知的障害の方
雇用契約	なし	あり	なし	なし
賃金	一部事業所を除き無し	あり (2015年度調査結果) 平均月収約6万7795円	あり A型に比べて低い 月額5000円～30000円	なし
年齢制限	65歳まで	65歳まで	年齢制限なし	30歳まで

**自立訓練** 2年の利用期限あり

**生活介護** 利用期限なし趣味的な創作活動から内職的な仕事まで。工賃は低い

**大学や短期大学へ進学** 特別支援学校高等部「**専攻科**」を設置している学校もあります。  
**ユニバーサルカレッジは「専攻科」として運営しております。**

# 進路先の選択ポイント意思決定支援について

- ・ 本人の意思の尊重



主体的

＜法体制の基で障がい者雇用があり、福祉サービスが存在している＞  
本人の意思表示は、生活する中で、どんな場面でも大切になり、中心的存在（主人公）にならなければなりません。

その意思を特に求められるのが就職するときと福祉サービスを利用するときです。

- ・ 本人の意思が汲み取りにくい場合、時間をかけて丁寧に確認する。

対話的

「意思決定の誘導をしない」

「多種多様な選択肢の提示」

★本人自身に不利益を及ぼす決定を「本人が決めたこと」と放置するのは虐待である。

★本人にとってよりよい意思決定を本人が納得してできるように支援することが重要。

出典：「ノーマライゼーション障がい者の福祉」2013年6月号をもとに報告者作成

◎**重い知的障害のある方にも、その方の意思があります。**

**表現された意思を支援者がくみ取ります。**